

futbol y vida



Poco a poco ...
Poco a poco ...

田中先生、六年間ありがとうございました!!
母校でのご活躍を祈っています!!

令和三年度、新シーズン開幕直前!!

春の“ミニ”武者修行で、段階的なレベルアップを図る!!

少し早いですが、**進級おめでとうございます!!**

桜の開花宣言が昨年同様に観測史上最速の3月14日に出され、先日、片倉山のサクラも春休みに満開となりました。練習中グラウンドから見る風景は絶景です!!残念ながら、50期生の入学式まではもたないかもしれませんね。

さて、緊急事態宣言が3月21日に解除され、二か月半ぶりに部活動が再開しました。四月早々に差し迫る新シーズン直前で、どこまで心と体のコンディションを戻せるか?大会に向けてどこまでチーム戦術を擦り合わせるトレーニングができるかどうか?段階的にトレーニング強度を上げていきながら、一方では怪我をさせないようになど、懸念材料が満載です。短い春休みのトレーニング期間だけではチーム作りの時間は到底足りませんが、限られた時間の中で工夫して今やれるだけのことを精一杯やるしかありません。既にチームは、ここまでコツコツと積み重ねてきたことをベースに動き出しました。毎冬恒例の**“鍛錬期”**や**“寒稽古”**、**“武者修行”**を乗り越える経験をしない中で迎える新シーズン。もちろん不安はありますが、前に向かって進むしかありません。

新入生招集日以降、50期生(新入生)も意欲的に練習参加し、上級生にとってもいい刺激となっているように思えます。また後輩は、先輩たちのプレー面だけではなく、取り組み姿勢や行動を見て育つものです。一年間のサッカー部の活動を鑑みると、**片倉高校サッカー部**として謙虚な気持ちで、少しずつプライドと自覚が芽生えるといいですね。本校には、野球部・吹奏楽部といういい目標があります。そこに追いつけるよう、我々も日々精進です!!

田中先生ありがとうございました!!

六年間、片倉高校サッカー部顧問、国語科教員として勤務されていた田中先生が母校の保谷高校に異動されます。今年度は、監督として指揮を執り、強豪校昭和第一学園を最後まで苦しめるなど手腕を発揮されました。また、GKコーチとしても地区選抜やトレセンでの指導を始め活躍もされました。四月からは、母校の躍進に向けて頑張ってください。

六年間、ありがとうございました!!



<片倉山のサクラは満開!! 今が見ごろ、絶景です!!>

田中隆晴先生から最後のメッセージ(挨拶)!!

6年間片倉高校に在籍し、昨年9月に40歳を迎えました。40歳を孔子は「不惑(ふわく)」と論語の中で言っています。40歳で心に迷いがなくなり、自分の道に専念できるようになるということです。

今その「不惑」になり、自分の中に迷いが全くないかと言われると言葉に詰まりますが、迷うことが少なくなったことは確かです。そうなれたことの大きな要因は、この6年間での数々の出会いだと思います。

まず、3人の個性的な指導者のもとで共に活動できたことです。一人目は沢辺先生です。クライフとバルセロナをこよなく愛し、人と違った真面目さを持った方でした。沢辺先生からは突き詰めることの大切さを学ばせていただきました。二人目は徳田先生です。お酒と自転車がとても好きでしたが、それらよりも生徒のことを一番愛する方でした。徳田先生からは義理と人情を学ばせていただきました。三人目は本宿先生です。サッカーをこよなく愛する方でしたが、その知識領域はサッカーだけにとどまらず驚くくらい博学です。その反面、「妥協」という身近な言葉だけは知らないようでした。本宿先生からは、信念と凡事徹底を学ばせていただきました。また、三人の先生方を通じて多くの方と知り合うことができました。その方々からも新しい知識や考え方を教えていただきました。これらの出会いが自分の迷いを減らしてくれたことは間違えないと思います。

そして、私の中で一番大きなものは今まで関わってきた150名以上にのぼる片倉高校サッカー部員です。家の息子よりも長い時間をともに過ごしてきました。一人ひとりが試行錯誤であり、貴重な経験をさせてもらいました。その積み重ねが私の心を強くし、迷いを一つずつ減らしてくれました。

出会いはお金では買えない人生の大切な財産だと私は思っています。この贈り物をいつか皆さんに、また皆さんの周りの誰かに返すために、これからも片倉高校サッカー部を応援し、そしてサッカーに関わり、教育に関わり続けたいと思います。今まで誠にありがとうございました。



<田中先生、六年間、お世話になりました!! トラクター運転している姿が印象的!! >

<After the Game>

春は、出会いと別れの季節です。緊急事態宣言により部活動停止の時期があったからかもしれませんが、時間の流れは特に早く感じました。田中先生の片倉での六年間もあっという間だったのかもしれませんがね。この間、沢辺・徳田・本宿という灰汁の強い先生(人間)との出会いと付き合いは、田中先生を強い人間に成長させたのではないのでしょうか?三人を代表して「ありがとうございました。」保谷高校との対戦を楽しみにしています。また、会いましょう!!